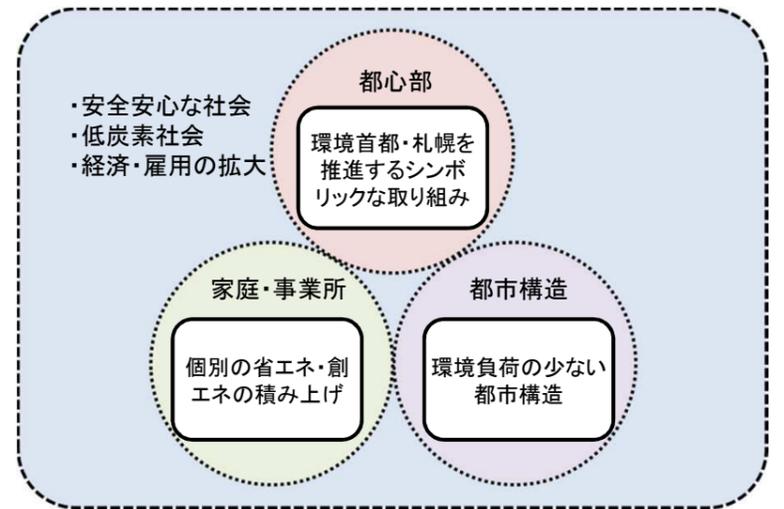


【重点戦略のねらい】

1. 「環境首都・札幌」宣言に基づき、地球環境保全のための取組の持続的な展開
2. 北方都市ならではの省エネルギー・創エネルギーの積極的な展開
3. 災害に強く、エネルギー効率の良い都市づくりに向けて、自立・分散型のエネルギー供給体制の確立
4. 新たなエネルギー技術の研究・開発・普及を進めると共に、これらを契機とした経済・雇用の拡大

【スマート札幌推進戦略の具体的推進】



【社会の変化と動向】

- 地球環境問題の深刻化、地球温暖化の進行
- 温室効果ガス排出削減への国際的取組
- 東日本大震災・福島第一原発事故の発生
- 防災・安全・エネルギーへの意識の高まり
- 省エネルギーの生活スタイル・消費行動の普及
- 再生可能エネルギーの開発・利用の促進
- エネルギーマネジメント技術・システムの展開

【実現のための重点的取組】

【都心部のエネルギーマネジメントの推進】

①自立・分散型エネルギーネットワークの展開

最もエネルギー消費の大きい都心部のエネルギー効率を高めるため、電力と熱を効率的に供給するシステムを計画的に配置し、その余剰熱を周辺の建物へ供給する自立・分散型エネルギーネットワークを展開すると共に、個別の建物更新などの際に、既存の熱供給管も含めたネットワークへの接続を促進する手法などの検討を進める。また、新たな地下歩行空間の整備計画にあわせて、ネットワーク化を支える空間の確保も検討する。

②環境にやさしい移動手段の構築

路面電車の積極的な活用や、レンタサイクルやサイクルシェアリングの活用も含めた自転車利用環境の向上などにより、環境にやさしい移動手段の構築を進める。

【次世代エネルギーシステムの展開】

①住宅や施設の省エネルギー化の促進

札幌版次世代住宅基準の普及促進や建築物環境配慮制度(CASBEE札幌)などのガイドラインを強化し、省エネルギー性能の高い住宅や施設の整備を促進すると共に、札幌版次世代住宅の技術を活用した経済効果への波及を目指す。

②先進的なエネルギーシステムの開発・利用の促進

再生可能エネルギーや新エネルギーを活用した電力や熱供給に関する先進的な技術の研究・開発・普及を、産学官の連携により積極的に推進することにより、効率的なエネルギー利用の促進とあわせて、産業の振興にもつなげていく。

③市民・企業の省エネルギー意識の向上

エネルギーの見える化や省エネ行動へのインセンティブの付与などによる市民・企業の省エネルギー意識の向上を図り、家庭・業務部門のエネルギー消費量の低減を促進する。

④次世代型自動車の普及促進

官民の協働による取り組みにより、次世代型自動車の普及を促進する。

⑤札幌型のエネルギーベストミックスの構築

家庭・事業所内で太陽光発電やコージェネレーションシステム、地中熱、蓄電池などを組み合わせた寒冷地にふさわしいエネルギーの効率的な利用を実現するスマートシステムの構築に向けた取り組みを進める。

⑥エネルギー連系システムの構築

系統ネットワークと分散型電源の安定した共存が図られると共に、震災などの緊急時にも対応できる自立性を備えたエネルギーシステムの構築をめざし、電力系統と分散型電源・再生可能エネルギーの連系に向けた検討を進める。

【環境負荷の少ない都市空間の創出】

①生活圏におけるエコモビリティの強化

自家用車に過度に依存しない生活圏を構成するために、路線バスの利便性の向上に加え、これを補完する安全な自転車利用環境の向上や地域住民に密接したコミュニティを支える交通のあり方など、生活圏の移動を支えるエコモビリティの検討を進める。

②循環型社会の構築

生ゴミ・処理残渣の再資源化や新エネルギーへの転換など、循環型社会の構築を進める。

③市民・企業の環境負荷を低減する行動の促進

環境教育の推進や積極的な情報提供による市民・企業の環境意識の醸成を図ることにより、市民・企業の出資による創エネの取り組みへの参加や環境にやさしいライフスタイルへの見直しなど、市民・企業の環境負荷を低減する行動を促進する。

④エネルギー効率の良いコンパクトなまちづくり

身近な生活圏で生活に必要な機能がまとまりを持って構成される市街地の形成により、移動によるエネルギー消費を抑えたコンパクトなまちづくりを推進する。